

崔書勉先生を囲む会 「第七回 日韓談話室」 案内

大雪とアジアの経済危機に驚かされた新年でございます。皆様には御機嫌良い年明けでおいでのこととお慶び申し上げます。・・・一月十七日は阪神大震災から早くも四年目を迎え、新たに人々の心に沢山の警告を鳴らしております。一日も早い全被災者の安定を祈るや切です。

この度の大統領選は一九六一年金大中氏と対立した革命勢力の金鍾泌元首相、朴泰俊元国会議長両氏と手を結んで金大中氏を選出という極めて興味深い成り行きでございます。

この熱気、未だ覚めやらない一月六日多くの問題を抱え自由民主連合 金鍾泌名誉総裁が福岡に到着され、八日東京御到着の第一番目の訪問者として古くから親交深い崔書勉先生は越智通雄先生、橋本明氏等を同行約三十分の会見をなされました。そこでその模様と「金大中次期大統領誕生と日韓問題」と題し、韓国の経済危機問題を含め お話しを伺い乍ら新年談話室を催し度く左記の通り御案内申し上げます。

一九九八年一月十八日

『日韓談話室』

代表世話人

世話人

堀 涉
嘉陽 嘉枝
寺田 佳子

記

日時 一九九八年二月三日(火) 十八時～二十時(時間厳守)

場所 日本倶楽部 丸の内・国際ビル八階 TEL: 〇三―三三二―二五二一

会費 五千元(簡単なお弁当を御用意致しております)

日時が迫り恐縮でございますが、一月二十八日(水)迄に同封葉書にてご出欠をお知らせ下さいますようお願い申し上げます。

『日韓談話室』連絡先

オズインターナショナル内・秘書 宇田

TEL: 〇三―三四〇四―一八八

FAX: 〇三―三四〇四―六三〇一

報告: 「第六回 日韓談話室」―崔書勉先生を囲む会― 一九九七年十月二十二日

江口一雄先生、橋本明共同通信特別顧問、沼田平大成建設常任参与はじめ総勢二十九名が参加。この度はまた素晴らしいゲストをお迎えする事が出来、談話室は光栄でございました。

韓国の大統領夫妻であり妹夫婦でもあるお二人を次々に暗殺される、と言う苦しく悲しい世界で唯一の体験を持たれる陸寅修先生をお迎えする事が出来ました。陸先生からは妹の結婚に当っては背のちんちくりんな朴正熙氏には見合いから結婚までの間父母の間に意見の相違がややありました様ですが、然し立派な人で妹は幸せであったと言う肉親ならではの打ち明け話等が・・・ついで朴大統領研究家 藤田義郎氏(明けて一月四日逝去され、最後の談話を伺った事になりました)からは大志を抱いた正義・思いやりある暖かい人柄で心からの友人であったと・・・。朴大統領主治医 足川医師からは洞察力が鋭く、決断が凄く、そして人を虜にしよう魅力のある素直な方であった・・・等々伺いました。締めくくって崔先生より歴史的にはナポレオン、ルーズベルトの様な経済建設成功の評価を受けるべきではないか、又民主化に於いてはルーズベルトに匹敵する人物であったと考えられるのではないかと御考察を賜り終了、懇親会に移りました。

「お断り」

①日韓談話室は一昨年四月に催しましたオズインターナショナル主催の故小河原史郎氏一周忌・偲ぶ会を発端として小河原夫人・清子、オズ社長寺田佳子が呼び掛け人となりスタート、その後、岸元総理秘書官 堀涉を代表世話人に元国策研究会嘉陽嘉枝を加え四人で努力して参りましたが、都合により小河原清子は世話人を退き同志として参加する事になりましたので御報告申し上げます。

②会場も狭くなりましたので広い日本倶楽部に設定致しました。折々は六本木シャルトルーズでも行いますのでご了承下さいませ。

尚、同志の皆様には今後とも更に御指導、御交誼を賜りますようお願い申し上げます。